

つしままるじけん 対馬丸事件について



1941年 12月8日 日本軍がアメリカの真珠湾、東南アジアのマレー半島を攻撃して戦争が始まる



日本軍は連戦連勝で東南アジアを占領

日本軍はここから負けが続いたみたい



1942年 6月 ミッドウェー海戦で日本が大敗

1943年 2月 ガダルカナル島撤退

1944年 7月 サイパン島陥落

8月 対馬丸事件

10月 レイテ沖海戦で大敗

1945年 3月 硫黄島陥落

3月10日 東京大空襲

3~6月 沖縄戦(9月7日 降伏調印式)

8月6日 広島に原爆が投下される

8月9日 長崎に原爆が投下される

8月15日 天皇陛下の「玉音放送」にて終戦が告げられる

9月2日 降伏文書調印

こちらは対馬丸事件が起きた太平洋戦争の主な出来事です

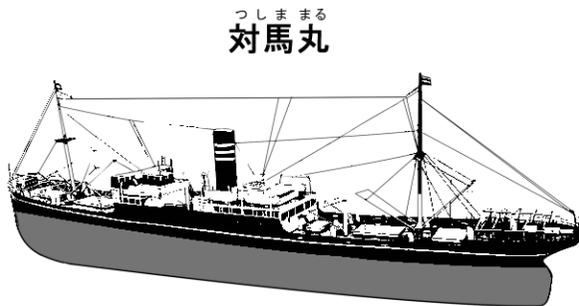
日本政府は沖縄県のお年寄り、女性、子どもを中心に県外に疎開させることにしたのです



サイパン島の陥落後、いよいよ連合軍が沖縄県に近づいてきました

サイパン島

疎開者に乗せて向かう先は長崎県です



つしままる
対馬丸

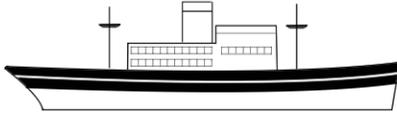
疎開船・対馬丸は昭和19年(1944年)8月19日に那覇港に着きました

日本郵船 貨物船

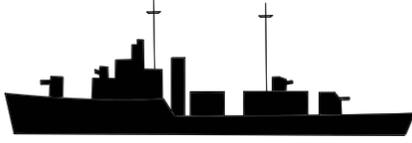
総トン数 6,754トン

完成・運用開始 1914年(大正3年)

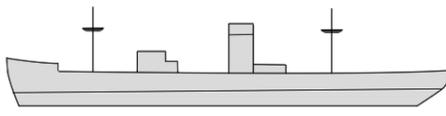
かざうらまる
和浦丸



ごえいかん うじ
護衛艦・宇治



ぎょうくうまる
暁空丸



ごえいかん はす
護衛艦・蓮



対馬丸の他に
貨物船が2隻、
それを守る護衛艦
2隻がいきました



海はアメリカ軍の
潜水艦がいて
危ないって
思う人が
多かったの



対馬丸が軍艦じゃ
ないとわかって
乗るのをやめる
ひともいたよ



船内では学童疎開者は
二段ベッドで、
一般疎開者は床に
ゴザを敷いて休みました
甲板で過ごしていた
人もたくさんいました

船長からは
救命胴衣を
着けるように
命じられていました



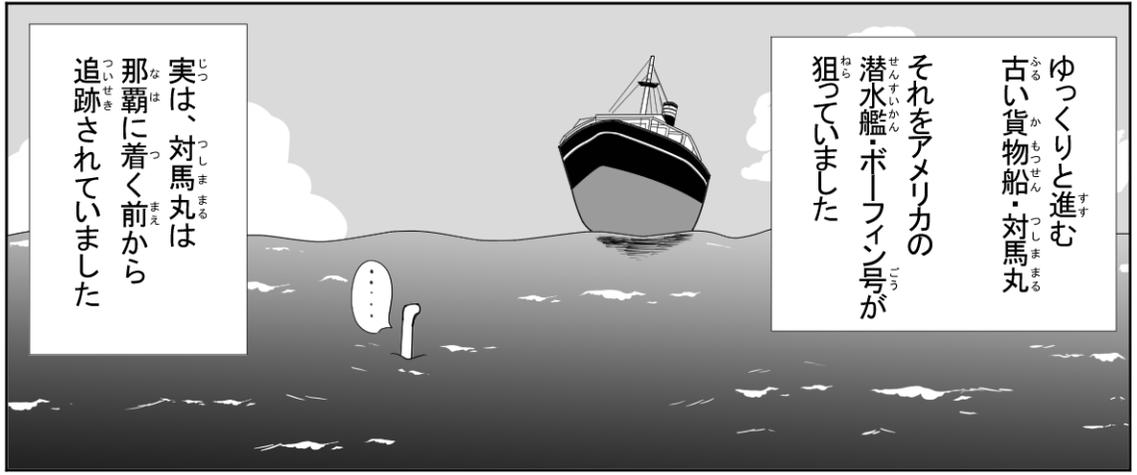
対馬丸には那覇市の
学校の学童疎開者、
各地から集まった
一般疎開者ら
1661名が
乗船していたと
言われています

学校単位の
疎開が多くて、
対馬丸には
たくさんの
子どもが
乗っていたんだ

ゆっくりと進む
古い貨物船・対馬丸

それをアメリカの
潜水艦・ポーン号が
狙っていました

実は、対馬丸は
那覇に着く前から
追跡されていました



アメリカ軍の作戦は
沖繩周辺の船を
狙い、物の輸送を
断つこと

日本軍の発信する
船の情報が
入った暗号を解読し
ずっと追いかけて
きていたのです

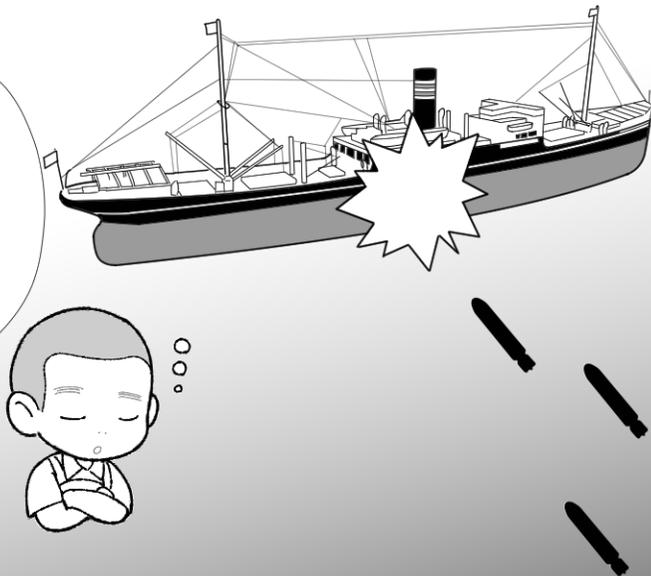
このポーン号は
終戦までたくさんの
日本の船を
沈没させて
いたんだって

この日に
あの船が
出航らしい!
行くぞ!



そして8月22日の夜
魚雷により
攻撃されました

夜の10時12分ごろ
皆ぐっすり
眠っていたよ





脱出に成功した人も
接近中だった
台風の影響で
高波にのまれ、
多大な犠牲を
出しました

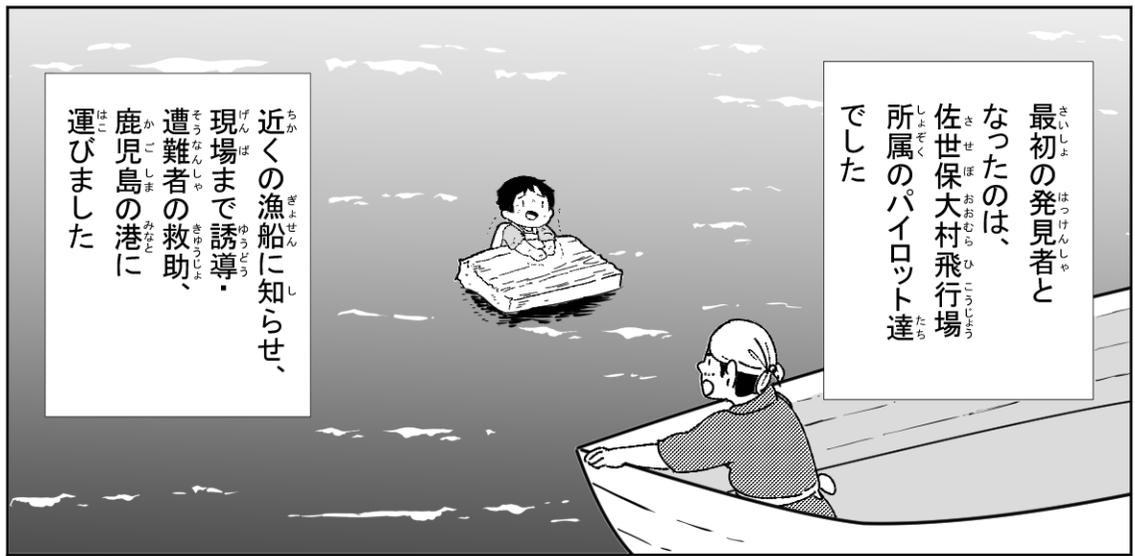


10分足らずで
沈没したため、
ほとんどの人が
船内に取り残され
ました



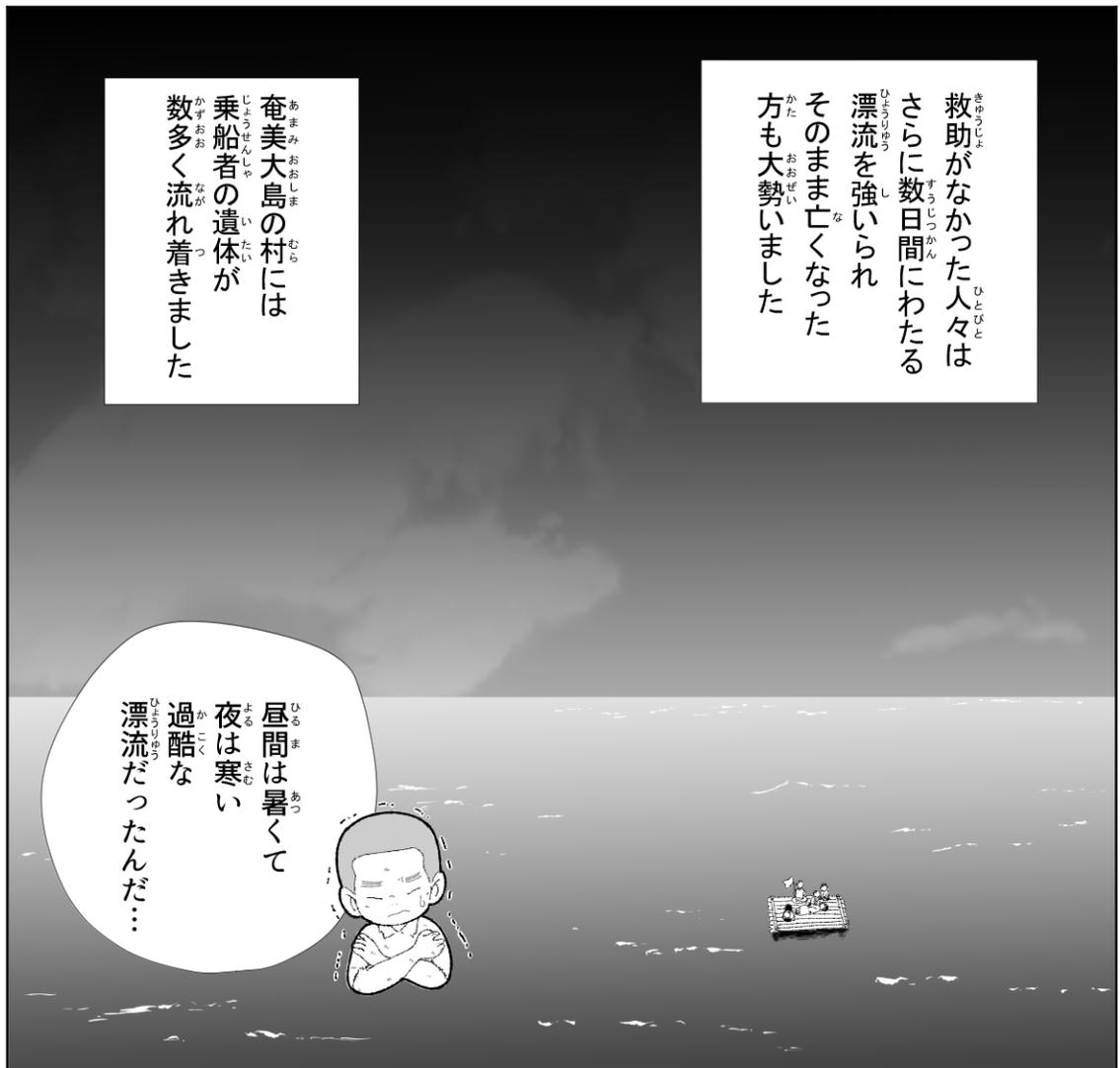
海にはサメが
泳いでおり、
恐怖に震えながら
救助を待ったのです

筏やボートに乗り、
または浮遊物に掴まり、
沈没から逃れた人たちは、
暗闇の中で漂流
することになりました



最初の発見者となつたのは、佐世保大村飛行場所属のパイロット達でした

近くの漁船に知らせ、現場まで誘導。遭難者の救助、鹿児島島の港に運びました



救助がなかつた人々はさらに数日間にわたる漂流を強いられそのまま亡くなつた方も大勢いました

奄美大島の村には乗船者の遺体が数多く流れ着きました

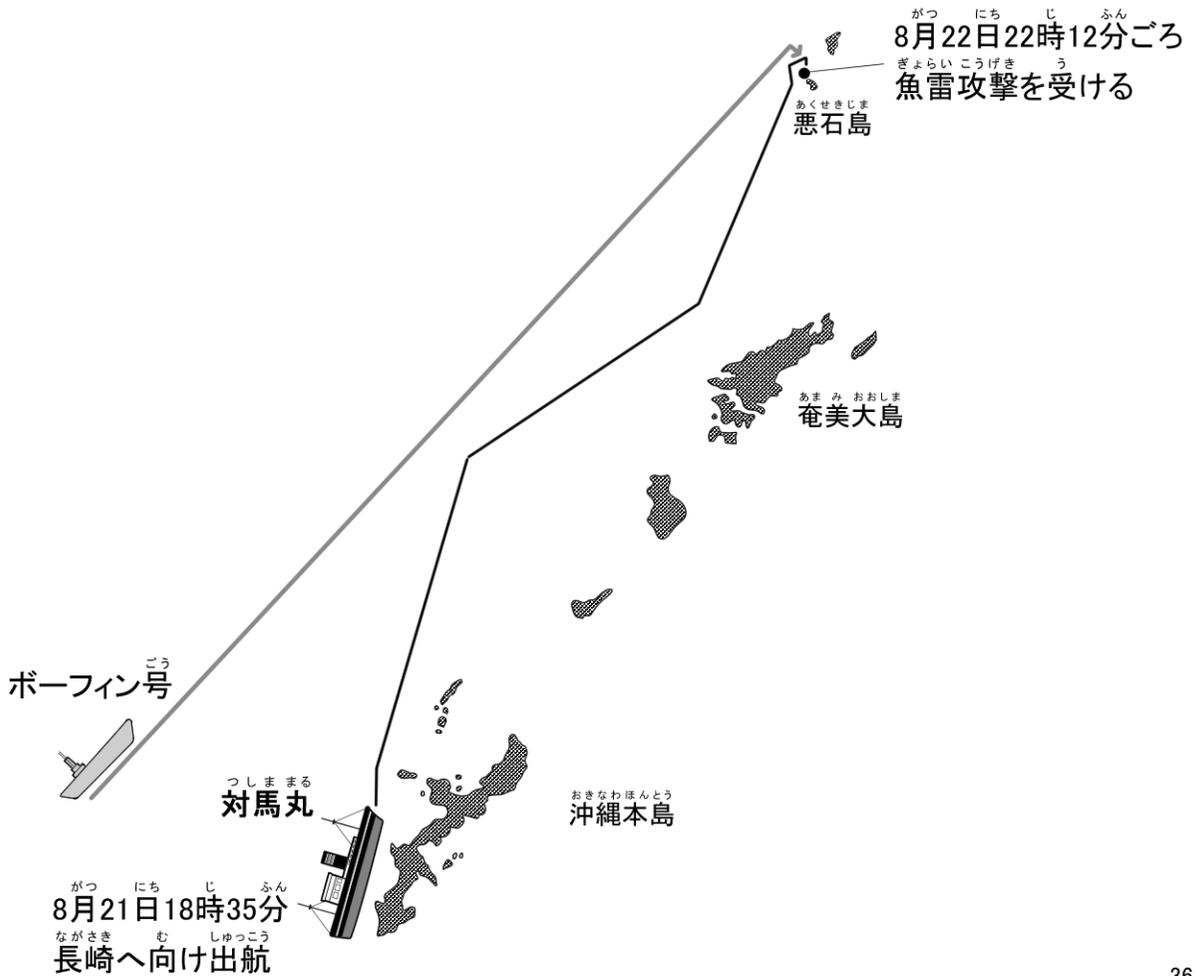
昼間は暑くて夜は寒い
過酷な漂流だったんだ...



漂流して島に
たどり着いた
人たちもいて、
手厚い介護を
受けたといえます

つしままる とお よ そう こう ろ ず
対馬丸が通った予想航路図

(対馬丸記念館ワークブックより)



対馬丸事件に関する基礎データ (対馬丸記念館リーフレットより)

対馬丸事件の乗船者数 [対馬丸記念館調査データ]2005年7月27日現在

		乗船者	犠牲者	生存者
疎開者	学童	834	775	59
	引率・一般	827	709	118
	計	1,661	1,484	177
船員		86	24	62
船舶砲兵隊員		41	21	20
合計		1,788		

対馬丸撃沈による犠牲者数 [氏名判別者数]

疎開者	学童	784名
	訓導(学校の先生など)・世話人	30名
	一般疎開	625名
船員		24名
船舶砲兵隊員		21名
合計		1,484名

対馬丸事件の生存者

これまで刊行された本には学童59名を含む177名が生存と書かれているものが多いです。
しかし、原則は不明です。

当時は細部にわたる被害実態調査がされませんでしたので、「対馬丸事件」に関する確かなデータは1つもありません。

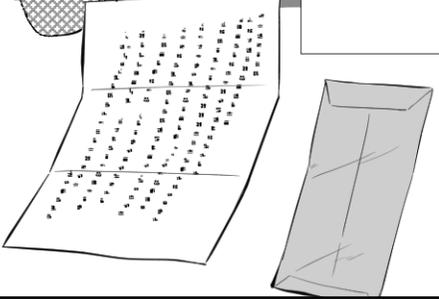


※憲兵：軍隊の中の秩序を守る、警察のような役割の軍人

救出された人々には
警察や憲兵から
「撃沈の事実を決して
語ってはいけない」
という「箱口令」が
しかれました

亡くなった方の
家族や友人から
「あの子と連絡が
取れない。何か
知っていますか？」
と手紙があっても
答えられません

生き残っても
辛い日々が
続いた人が
多かったよ



その後、
1945年(昭和20年)
3月に沖縄が戦場になり
対馬丸を見送った
人たちの多くが
巻き込まれて
しまいました

大勢の人が亡くなり、
怪我を負い、
居場所を失い、心に
戦後何十年経っても
忘れられない
傷を残しました



犠牲者の遺品も
対馬丸の沈没や
沖縄の戦いで
家を焼かれたことで
極端に少ないのです

終戦後
1954年(昭和29年)、
沖縄県那覇市に
対馬丸事件の
被害者を追悼する
慰霊碑「小桜の塔」が
建てられました





犠牲者の追悼が
続けられています

1962年(昭和37年)
には、対馬丸が沈没した
場所から近い
悪石島に慰霊碑が
建てられ



沖縄県那覇市に
対馬丸記念館が
開館しました

さらに
2004年(平成16年)、
対馬丸事件の悲劇や
平和の尊さを
伝えるため

犠牲者の遺影や
遺品などの
展示があつて
事件について
詳しく知ることが
できるんだ

俺たちの
お父さんの
写真も
ここにあるよ



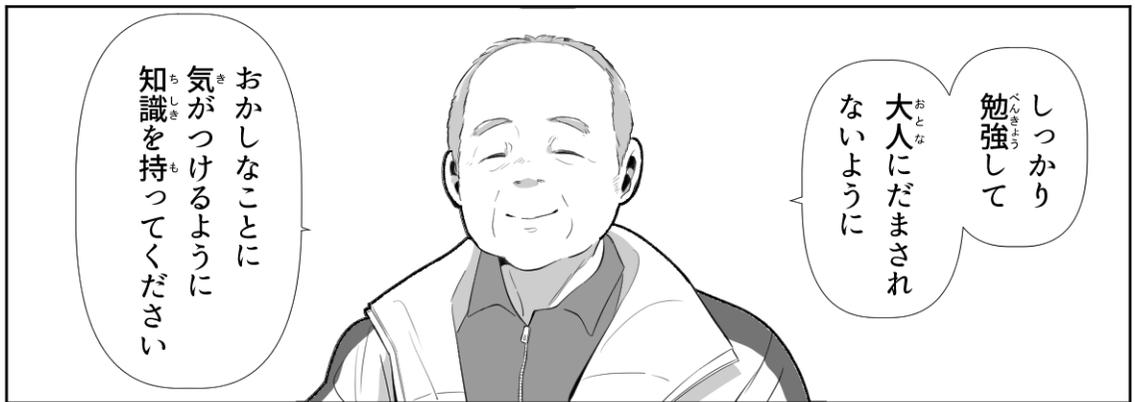
当時は戦争の混乱で
勉強したくても
できなかった
物もなかった

今回、
対馬丸事件の体験を
語ってくださった
喜屋武さんは
こうおっしゃっています



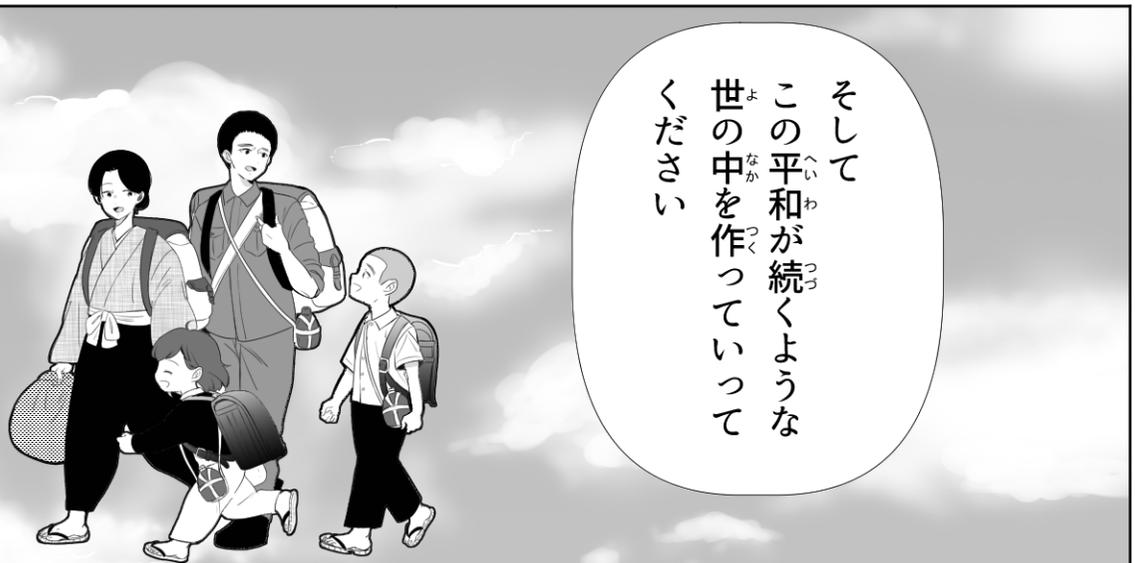
今の^{いま}ことも^たちは
実感^{じっかん}して^いないと
思^{おも}いますが…
とても^め恵^{めぐ}まれて^いると
思^{おも}います

その^いまの^まことに^きづいて
今^{いま}の^ああたり^まえに
感謝^{かんしゃ}して^い生きて^いって
欲^ほしい^いです



しつかり
勉強^{べんきょう}して
大人^{おとな}に^だまされ
ない^{よう}に

おかしな^きことに
気^きが^つける^{よう}に
知識^{ちしき}を^もつ^てく^ださい



そして
この^{へい}平和^わが^つづく^{よう}な
世^よの中^{なか}を^つく^てい^って
く^ださい

参考

対馬丸記念館ホームページ

『戦後80年 #あなたの623』RBC琉球放送

早乙女愛『海に沈んだ対馬丸 子どもたちの沖縄』岩波書店

与勝海星『対馬丸沈没』沖縄文化社

大城立裕『対馬丸 さようなら沖縄』理論社

石野径一郎・原作 木内千鶴子・画『ああ七島灘に眠る友よ！ 疎開船「対馬丸」の悲劇』集英社

しんざとけんしん『ヤンバルの戦い1』琉球新報社

対馬丸記念館

平和と歴史を学ぶ

平和への祈り、歴史の証

対馬丸記念館は、太平洋戦争中の1944年8月22日に米潜水艦の攻撃により沈没した学童疎開船「対馬丸」の犠牲者を追悼し、平和を祈念するために2004年8月22日に開館しました。沖縄戦で犠牲となった対馬丸の悲劇を伝えるとともに、平和の尊さを訴えるための施設です。

館内では、対馬丸事件の経緯や犠牲者の遺品、証言などを展示し、戦争の悲惨さと平和の重要性を深く学ぶことができます。

また、記念館が建つ那覇市旭ヶ丘公園内には、対馬丸犠牲者の慰霊碑「小桜の塔」もあります。

子供から大人まで、幅広い世代の方が過去の悲劇を忘れず、未来の平和について考えるきっかけとなる場所です。ぜひ一度、対馬丸記念館へお越しください。



館内の様子



小桜の塔

施設紹介

- ・住所 : 沖縄県那覇市若狭1丁目 25-37
- ・電話番号 : 098-941-3515
- ・開館時間 : 午前9時～午後5時
- ・休館日 : 木曜日、年末年始

※詳細は対馬丸記念館のウェブサイトをご確認ください。





漫画作成にご支援頂いた方

(ご支援順になっております。ご了承下さい)

・協賛:北九州 ESD 協議会 様

- | | | | |
|-------------|---|--------|---|
| ・園田愛音 | 様 | ・下新原崇 | 様 |
| ・名嘉季江子 | 様 | ・真菜・未桜 | 様 |
| ・宮武政充 | 様 | ・山下美恵香 | 様 |
| ・盛田美紀子 | 様 | ・西牟田章人 | 様 |
| ・棚部龍太 | 様 | ・渡辺いづみ | 様 |
| ・ENISHIWORK | | ・澄ちゃん | 様 |
| 代表 石田和美 | 様 | ・箕内ちづる | 様 |
| ・高田和子 | 様 | ・金井利廣 | 様 |
| ・水井雅彦 | 様 | ・石本勝英 | 様 |
| ・西口秀和 | 様 | ・山内洋子 | 様 |
| ・認定 NPO 法人 | | ・鍋島淳子 | 様 |
| 好きっちゃ北九州 | | ・寺原裕明 | 様 |
| 入門真生 | 様 | | |

他匿名希望の方 11名

ありがとうございました。

ご支援に感謝いたします。



〈漫画作者プロフィール〉

そやま まい

兵庫県明石市生まれ。京都精華大学カートゥーンコース卒業。

京都新聞で4コマ漫画を連載。(2015年～2017年)、2017年「漫画特攻最後のインタビュー」(扶桑社)、2020年「最後の手紙」(北九州 戦争を次世代に伝えていく会自費出版)、2021年「まんが護国神社へ行こう！」(かぎひの文庫)を出版。

ホームページ

<https://4tobira.wixsite.com/soyamamai/>



〈原案者プロフィール〉

北九州 戦争を次世代に伝えていく会 代表 樺島 由彬

「漫画で先の大戦を学生や子どもに伝える」をコンセプトに、戦争体験者に聞き取り調査した資料を基に漫画化している。現在まで6冊出版。2020年「はっちゃん」の飛行兵奮闘記・「最後の手紙」 2021年「シベリア抑留を生き抜いて」、2022年「流れる雲よ」(企画制作)・「皮肉な運命」、2023年「七つボタンに憧れて」。2022年7月より、市民センター・小学校等で講演活動も行っている。



ホームページ



インスタグラム



Facebook

おわりに

この度は漫画『平和の約束「喜屋武 盛宜さんの戦争体験記」』をご覧いただきありがとうございます。今回も多くの方に支えて頂き、完成させることが出来ました。深く感謝申し上げます。

前作から約1年半の充電期間を経て、またこの活動の歩みを前へ進めることとなりました。色々なことを経験する中でやはり「漫画で戦争を伝える」活動こそが使命だと感じました。

今回の漫画のタイトル名を考える際に、今までにお話を伺ってきた戦争体験者の方のことを振り返ってみました。ご体験されたことは様々でも、皆さんが同じような言葉を仰っていたことを思い出しました。「このような悲惨な体験は私たち世代だけで充分だ。私たち世代で最後にして欲しい」と。喜屋武さんも同じような気持ちでお話してくださいました。は感じていました。その時に気が付きました。これは、戦争体験世代から私たち世代や子どもたちへの『約束』である・・・。

リスタートとなる今作にまさにびったりなタイトルになったと思っています。これからも、この『約束』を次の世代へ伝えていけるよう、走り続けていきたいと思えます。

最後になりますが、作者のそやま まいさん、学芸員の方をはじめ、監修いただきました「対馬丸記念館」の皆様、アドバイスをくださった方々、ご支援いただいた方々、多くの方々のおかげで今回も無事に完成しましたことを深く感謝いたします。ありがとうございました。

この一冊が一人でも多くの方にご覧いただけることを願ひまして挨拶とさせていただきます。

北九州 戦争を次世代に伝えていく会 代表 樺島 由彬

平和の約束

～Promise of Peace～

「喜屋武盛宜さんの戦争体験談」

発行 令和8年1月1日(初版)

監修 対馬丸記念館

原案 北九州 戦争を次世代に伝えていく会

作画 そやま まい

発行人 樺島 由彬

発行所 北九州 戦争を次世代に伝えていく会

Facebook Messenger

<https://m.me/jisedaini/>

☎080-6423-8570

印刷 トム出版

※ご意見、ご感想などございましたら、下記までご連絡ください。



北九州 戦争を次世代に伝えていく会

← (Website) <https://www.kitakyu-zisedaini.com/>

(Facebook) <https://www.facebook.com/jisedaini/>

そやま まい

(Website) <https://4tobira.wixsite.com/soyamamai> →

(X) @kyotokiwasoymama

(Instagram) soyamamai

